

(様式第2(四))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

評価に関する情報

4 / 5

識別番号・報告回数		B-08030075	第2報	一般的名称		ザナミビル水和物		該当なし		
医薬品を入手した国 (承認国)		医薬品販売名 (Lot)	一般的名称	医薬品に対して取られた処置	開始日	終了日	投与開始から発現までの時間間隔	投与終了から発現までの時間間隔	再投与による再発の有無	再投与により再発した副作用名
1.	日本 (日本)	リレンザ	ザナミビル水和物	投与中止	09/02/05	09/02/05				
2.		メイアクト	セフジトレンピボキシ ル		09/02/04					
3.		テルギンG	フマル酸クレマスチン		09/02/04					
4.		アスベリン	ヒベンズ酸チペピジン		09/02/04					
評価対象となる副作用/有害事象名			評価の情報源		医薬品と副作用/有害事象 の因果関係 (評価方法)		評価結果		医薬品に関するその他情報	
1.	幻覚		報告者				否定できない		1. リレンザ: 2. メイアクト: 3. テルギンG: 4. アスベリン:	
報告された死因					剖検		剖検による死因			
							MedDRA		Version (12.0)	

11

(様式第2(一))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

1/5

識別番号・報告回数	B-08030076	第2報	関連報告番号		重篤	医学的確認	死亡日		機構処理欄
最新情報入手日	2009年03月17日		第一報入手日	2009年02月24日	死に至るもの 生命を脅かすもの 入院又は入院期間の延長が 必要なもの 永続的又は顕著な障害・ 機能不全に陥るもの 先天異常を来すもの ◎ その他の医学的に重要な状態	報告された死因(死亡の場合)			
副作用	15日	身長 cm	過去の副作用歴	原疾患・合併症・ 既往歴					
発現国(情報源)	日本(日本)								
患者略名		体重 Kg	インフルエンザ インフルエンザ脳 炎						
性別	男性								
年齢	9歳	曝露時の妊娠期間							

新医薬品等の区分
該当なし

医薬品情報

販売名	一般名	被疑薬	経路	剤型	投与量		投与期間		医薬品使用理由
					投与量/回	回数	開始日	終了日	
リレンザ	ザナミビル水和物	S	吸入	INH	10mg/1回	1日	09/02/23	09/02/23	インフルエンザ

副作用/有害事象

重要性	副作用/有害事象名 (MedDRA-PT)	副作用/有害事象名 (MedDRA-LLT)	持続期間	発現日	転帰日	投与開始からの 時間間隔	最終投与からの 時間間隔	転帰
重・非	意識消失 (意識消失)	意識消失		09/02/23	09/02/28			回

副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過

2009/02/233:00
感冒様症状を発現。夜中に発熱。体温38.5度。
2009/02/239:30
発熱のため来院。体温37.4度。キットでインフルエンザB陽性のため、リレンザ処方。
2009/02/2311:00
帰宅後リレンザ吸入。
2009/02/2311:30
(通常の覚醒時)意識消失出現。体温:38.3度。当院に電話あり。
2009/02/2311:50
救急車で来院。
2009/02/2312:05
意識消失はすぐに回復。開眼するもやや不穏状態で会話不能のため他の病院へ転送。その後、脳炎の疑いのため入院。転院先にて、インフルエ
ンザ脳炎と診断される。
2009/02/28
退院。
2009/02/28頃
インフルエンザ回復。
<その他の情報>
睡眠障害の既往歴:無
睡眠障害の家族歴:無

MedDRA

Version (12.0)

(様式第2(一))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

1 / 5

識別番号・報告回数	B-08030076	第2報	関連報告番号		重篤	医学的確認	死亡日		機構処理欄
副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過									
熱性痙攣の既往歴: 無 熱性痙攣の家族歴: 不明 異常行動の既往歴: 無 他剤での異常行動の副作用: 無 異常行動発現の患者さんの記憶の有無: 不明 異常行動の発現時あるいは発現直前の患者さんの光に対する反応の有無: 不明 異常行動の発現後、一眠りして回復したか: 不明									
								MedDRA	Version (12.0)

(様式第2(二))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

2 / 5

識別番号・報告回数	B-08030076	第2報	一般的名称	ザナミビル水和物	該当なし
担当医等の意見			報告企業等の意見		
<p>(意識消失) リレンザ：否定できない H20年2月にもインフルエンザAでリレンザ処方。この時は異常なしで経過しているため、今回は関連については不明。 意識回復後の症状については、インフルエンザ脳炎によるものであり、リレンザの副作用とは考えられない。</p>			<p>時間的關係からは、意識消失と本剤との関連性は否定できないと考えます。</p>		
今後の対応					
今後とも、安全性情報の収集・伝達に努力し、同様の事象の発現状況をみて対処する所存です。					
送信者による診断名/症候群及び/又は副作用/有害事象の再分類			第一次情報源により報告された副作用/有害事象		
			意識消失		
累積報告件数・使用上の注意記載状況等					
<p>1. 使用上の注意の記載状況 意識消失：(国内) 記載なし。その他、重要な基本的注意として次の記載あり：因果関係は不明であるものの、本剤の使用後に異常行動等の精神神経症状を発現した例が報告されている。小児・未成年者については、異常行動による転落等の方が一事故を防止するための予防的な対応として、本剤による治療が開始された後は、(1) 異常行動の発現のおそれがあること、(2) 自宅において療養を行う場合、少なくとも2日間、保護者等は小児・未成年者が一人にならないよう配慮することについて患者・家族に対し説明を行うこと。なお、インフルエンザ脳症等によっても、同様の症状が現れるとの報告があるので、上記と同様の説明を行うこと。/(PDR) 意識レベルの変化、錯乱、異常行動、妄想、幻覚、激越、不安、悪夢等の譫妄/(ABPI Data sheet) 意識レベルの低下、異常行動、幻覚および譫妄等の精神症状</p> <p>2. 累積報告件数 意識消失：(国内) 8件(今回の報告を含む) / (外国) 5件</p>					
引用文献			資料一覧		
				MedDRA	Version (12.0)

15